

三内丸山通信

平成29年度発掘調査の成果 第41次調査終了!!

10月27日、第41次発掘調査が終了しました。今年度は、

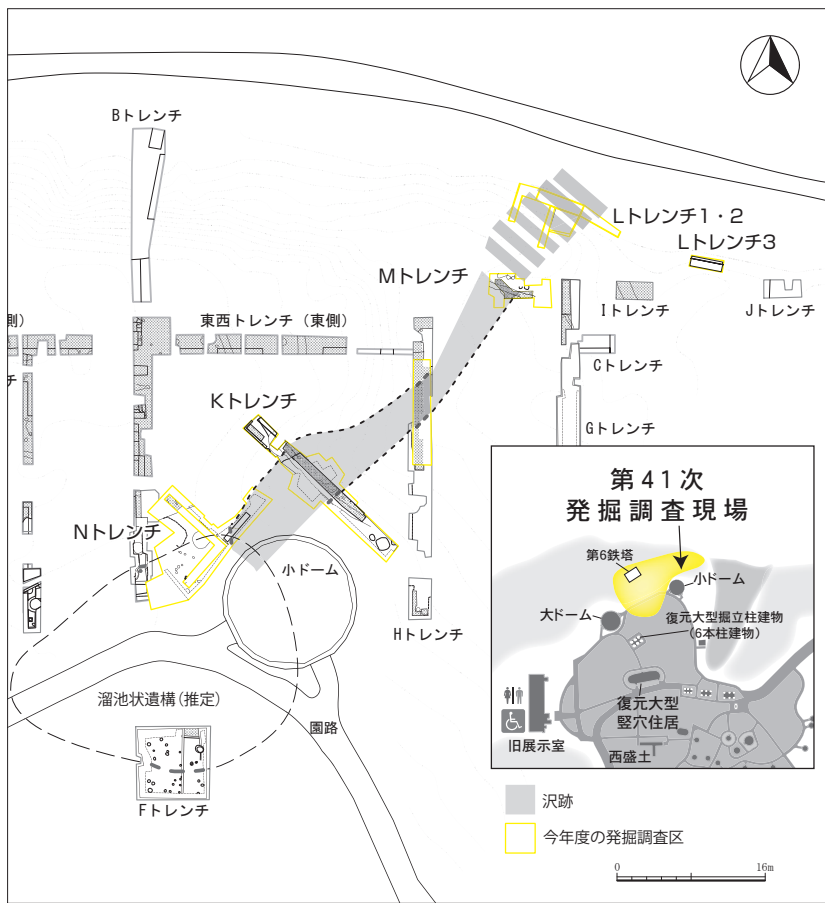
三内丸山遺跡の北端部（小ドーム付近）で、沢跡の形状や時期、「溜池状遺構」と沢跡の関係などを明らかにするために調査を行いました。

沢跡の調査結果

今年度調査した沢跡は、縄文時代に水が流れていた可能性が高い場所です。昨年度の調査で、遺跡の北端部に縄文時代の沢跡があることがわかり、今年度はその大きさや形、

時期について調べました。

数か所の発掘区で地面が削られたり傾斜したりしている場所が見つかり、沢跡が当時40m以上続いていたことがわかりました。また、沢の中の土が削られていることや、砂層と水流で粒が揃った土層が何層にも積み重なっていたこと、その土からは複数の時期の土器が出たこと、沢が埋まつたり、削られたりする状況であった可能性が高いことがわかりました。



【第41次発掘調査平面図・発掘調査位置図（右下）】

「溜池状遺構」と沢跡

「溜池状遺構」は、土や砂などが水平に積み重なっていることから、水が流れたり、溜まつたりしていた、ため池のような場所と考えられます。その大きさが、東西約25m、南北約20mだと今年度の調査でわかりました。

また、沢跡と「溜池状遺構」には、沢の水をせき止めてため池を作るなどの直接的な関連があるか調査しましたが、はっきりとは分かりませんでした。部分的ですが、土層の状況などからは、「溜池状遺構」よりも沢跡が新しいところもあることがわかりました。



【土が積み重なっている様子 Kトレンチ】

沢跡と「溜池状遺構」以外の北端部のすがた

沢跡と「溜池状遺構」以外に、今年度調査では、土や土器を捨てるなどして約1.5mも積み重なった場所が見つかりました。近くにある、北盛土などに土の様子が似ています。

また、穴を掘って土器を埋めたもの（埋設土器）が複数見つかりました。これは子どものお墓と考えられているもので、2つの土器の口を合わせて使っ



【埋設土器（合わせ口） Kトレンチ】

ているものもありました。現在は、出土遺物などの整理作業を行っており、その成果報告を平成30年3月10日（土）の遺跡報告会で行う予定です。たくさんのご来場をお待ちしております！ぜひお越しください。

企画展「磨製石斧の一生」

場所：さんまるミュージアム企画展コーナー
期間：平成30年3月4日（日）まで

企画展は、磨製石斧を用いた活動を「一生」に見立て、「つくる」「つかう」「土地柄」「納める」の4つの内容に分けました。「つくる」は磨製石斧を作ること、「つかう」は磨製石斧を用いた活動、「土地柄」は、西目屋村水上（2）遺跡と比較することで、三内丸山遺跡の磨製石斧の特徴を表現しています。そして「納める」は磨製石斧がお墓に副葬品として埋められるなどの行為です。

磨製石斧が縄文人の生活にどのように関わっていたのかを実感してください。



納める 土地柄
期間：平成29年9月16日（土）～平成30年3月4日（日）
場所：三内丸山遺跡縄文時遊館 さんまるミュージアム
※企画展の終了日は、変更になる場合があります。決定次第HPでお知らせいたします。

縄文時遊館増築中！

昨年から始まった地上1階、地下1階の縄文時遊館増築工事、ついに外観が現れました！今後は、建物の内部工事を行い、来年11月頃の公開に向けて準備を進めていきます。お楽しみに！

【増築建物の特長】

企画展示室

縄文文化などの多彩なテーマの企画展を観覧できます。貴重な文化財を間近で体感してみてください！



【完成イメージ図（右側建物が増築建物）】

整理作業室

発掘調査の出土品などを整理しており、土器の接合や復元などの作業の様子を見学できます！

収蔵庫

三内丸山遺跡から出土した土器や石器などを収蔵します。見学して、出土品の豊富さを体感してください！

※完成まで施設利用の一部を制限等しておりますので、ご理解、ご協力をお願いします。

10月20日に、三内丸山遺跡の魅力づくりについて、これまで検討を重ねてきた専門家の会議から、報告書が提出されました。この中では、三内丸山遺跡が世界遺産たるべき北海道・北東北の縄文遺跡群の中核として、その価値を発信し、構成資産である遺跡群の情報を統括する機能を果たしていくことが使命であるとして、増築施設にできる企画展示室を活用した積極的な情報発信など様々な提言をいただきました。今後は、これらの提言を踏まえ、遺跡の更なる魅力づくりを推進していきます。

三内丸山遺跡
魅力強化していきます！

9月16日（土）～18日（月・祝）に「さんまるJOMONの日」を開催しました。3日目は台風の影響で屋外のイベントを中止しましたが、たくさんさんのイベントを開催し、3日間で約8500名の方に参加していただきました。その2日目に開催した、



【ジョモリンピックの参加者の皆様】

縄文時遊館



【ギネスチャレンジャーの皆様】

三内丸山遺跡競技大会「さんまるジョモリンピックwithご当地キャラ」には、19チーム72名、ご当地キャラ24体に参加していただきました。11月5日（日）には、「さんまる文化・スポーツフェス」・「ギネス世界記録に挑戦」世界最大の考古学授業「」を開催し、この日、約3800名の方にご来場していただきました。ギネス世界記録は、約300名の方が考古学授業を受け、「世界最大の考古学授業」を見事達成しました。2月10日（土）・11日（日）には「三内丸山縄文冬祭り」を開催する予定です。雪を使った楽しいイベントを企画する予定です。たくさんの方のご来場をお待ちしております！

平成29年8月1日、三内丸山遺跡の見学者が800万人に達しました。平成6年8月から一般公開している三内丸山遺跡には、年間約30万人の見学者が訪れます。一般公開からおよそ23年、800万人目として見学に来られたのは、埼玉県在住の小河原岩雄さんです。縄文時遊館で行われたセレモニーでは、小河原さんに記念証と記念品が贈られました。

見学者800万人達成

さんまる縄文体験を行いました！！



【体験！発掘調査のようす】

を守るために、北の谷で外来種のアメリカザリガニ釣りを行いました。さんまる縄文体験は来年度も行う予定です。新たにいろいろな体験メニューを企画します。内容や日程はホームページやチラシ等でお知らせします。お楽しみに！

三内丸山遺跡のご案内

休館日 見学料
12月30日～1月1日 無料

開館時間
10月～5月：9時～17時
GW中・6月～9月：9時～18時
(入場は閉館の30分前まで)

さんまるミュージアムの定時案内
10時30分～、13時30分～の2回(所要時間約20分)

ボランティアガイドの定時案内
1回目は9時15分から
2回目以降は10時から1時間ごと
最終回は16時から
(10月～3月は15時30分が最終回)
所要時間：約50分
見学お問い合わせ先：三内丸山応援隊 017-766-8282

公共交通機関

□青森市営バス
JR青森駅から⑥番乗り場 三内丸山遺跡線
三内丸山遺跡前で下車
料金310円 約30～40分

□ねぶたん号
JR新青森駅東口
三内丸山遺跡前で下車 料金200円 約15分

今年度のさんまる縄文体験のメニュー

6/17(土)	遺跡を守ろう①！縄文の木を観察して、プレートを作ろう	縄文時代に生息していた木を観察し、木のネームプレートを製作します。
7/8(土)	遺跡を守ろう②！縄文の木にプレートをつけて、外来種の木を伐採しよう	縄文の木にネームプレートを取付けて、遺跡の中にある外来種のニセアカシアの木を石斧を使って伐採します。
7/15(土)	やってみよう！土器作り①	粘土で縄文土器と土偶を作ります。
8/1(火)	体験！発掘調査	遺跡内で発掘作業を体験します。
8/5(土)	土偶のレプリカを作ろう	土偶の複製品(レプリカ)を作ります。
9/2(土)	やってみよう！土器作り②	7/15に作った土器と土偶を野焼きします。野焼きの間には木の実の採集体験をします。
10/7(土)	ザリガニを釣って遺跡を守ろう！	遺跡に生息する外来種のザリガニを釣って駆除します。
10/14(土)	鹿の角で釣り針を作ろう	鹿の角で釣り針を作り、魚を釣ります。